

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



かふう

毎週金曜日発行

2014.9.5

Vol.466

<http://www.kahu.jp>

かふう

軍用地買取ります
売主様とのお約束!
 当社買取で、仲介料はナシ!!
 年間100件以上の取引実績で即断即決!!
優良 売り物件 あります

 沖縄県知事(1)4087号 沖縄県浦添市城間4-5-6 1F
カミヤプロデュース
 tel.098-870-7777

新報リビングニュース



目次

こんな家に住みたい
本島南部 Sさん宅

自然の豊かさを享受する傾斜地の家

チャレンジ 25

- | | | |
|----------------------------------|--|-------------------------------|
| 5 ギャラリーに行こう
AWESOME TRADING | 10 技人
三線職人 仲嶺 幹さん | 13 ガーデン
マイ・ハーバル・ライフ |
| 6 どうする住宅資金
マイホームの維持管理
戸建て編 | 11 うちなあ点描
食文化継承とは、命の重み伝えること
稲垣 暁 | 19 不動産Q&A
不動産鑑定士 仲程通秀さん |
| 9 やんばる風景花街道
「浜の恋物語」の村に咲く花 | 12 ペット
MAMOLATTE/エキゾと暮らそう | 20 建築資材ライブラリー
スクリーンパーティション |
| | | 22 かふう週報 |

撮影・歴比久光史 「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「果報。幸運（にめぐり合うこと）」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。

琉球新報
 発行/琉球新報社
 〒900-8525 沖縄県那覇市天久905
 ☎098-865-5014
 企画・編集・制作/(株)正広コーポレーション
 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9
 ☎098-941-8112
 購読のお申し込み **0120-39-5069**

自然の豊かさを享受する傾斜地の家

Sさん夫妻は、2年ほど前に傾斜地の高低差を生かした住まいを完成させました。広々とした庭はもちろん、家の中も子どもたちの格好の遊び場。山の景色を間近に見ながらおおらかに暮らせる住まいです。

沖繩の昔ながらの家づくりから学ぶ

山のふもとの集落に建つSさん宅は、夫婦と2人のお子さまの4人家族。リビングの窓の前に立つと、視界いっぱい山の木々や芝生の緑が広がり、夜は満天の星を眺めることができます。Sさん夫妻がマイホーム

を建てたのは2年ほど前のこと。「子どもたちを家の中や庭で思いっきり遊ばせたい」と、結婚当初から計画していた家づくりを実行に移し、自然に囲まれたこの土地を探し出しました。「傾斜地でしたが、実家の

隣の集落という安心感もあって、購入することにしました」と奥さまは振り返ります。

住宅情報紙や完成見学会などで情報収集するものの、家づくりのパートナーを決めかねていたというSさん夫妻。そんなある日、たまたま足を運んだ住宅完成見学会で、夏は涼しく、冬暖かい室内環境をつくり出す断熱工法に出会い、「この工法を開発した設計施工会社に依頼しよう」と気持ち

が固まりました。Sさん夫妻がこだわったのは、家の中の隅々まで光が差し込み、かつ風通しもいい家であること。特に家族が集うLDKは、庭のある南側に向かって開いた開放的な造りをリクエストしました。「間取りは昔ながらの沖繩の家を参考にしました。通風採光を考えると、昔の人の家づくりに習うのが一番だと思ったんです。もちろん、二番座の位置をリビングにとりうふうに、自分たちの暮らしに合わせて現代的にアレンジしましたよ」と言います。



レンガ造りのバーベキュー台はご主人の手作り。夜も庭で食事ができるよう、軒下にスポットライトを設置しました。Sさん宅は高台にあるため、周囲からの視線も届きにくく、心置きなく語らいが楽しめます



リビングの天井に勾配をつけることで開放感を創出するとともに、空間にメリハリをつけています。中央奥に見える窓の先は、地階駐車庫の屋上を利用して設けたベランダとなっています



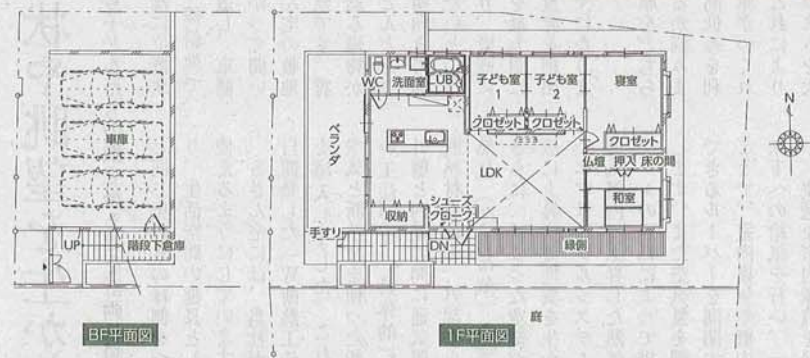
右／緑側から玄関ポーチを見る。この先に続くアプローチ階段の並びには植栽スペースを確保。現在は家庭菜園として使っています 左／バスケットボールに夢中な長男のためにバスケットゴールを置いてシュートの練習ができるようにしました。昔から庭木として人気が高いクワチ(黒木)が、重厚感を醸し出しています



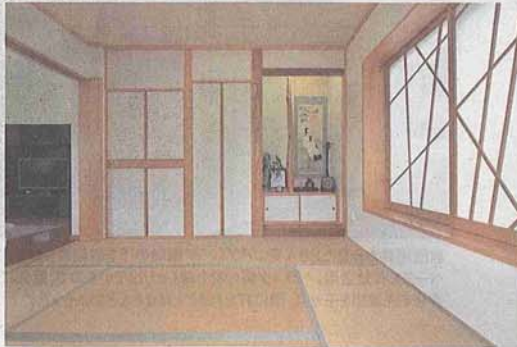
高低差を利用した地階車庫
 Sさん宅は、土地の高低差を生かして確保した地階の車庫と、1階の住居スペースからなる鉄筋コンクリート造の平屋建てです。奥さまが絶賛するのは、軒を車庫の入り口まで延長して、雨にぬれずに玄関まで行けるようにしていること。「これは大正解でした！」と満足そうに話します。

玄関扉を開けると、一番高いところで約4メートルの天井高がある開放的なリビング。南側の掃き出し窓から庭とつながり、北側のハイサイドライトからは常に光が降り注ぎます。「風通しの良さ」と、断熱工法のおかげでエアコンいらす。寝室でくたくたに使うくらいです」と奥さま。ちなみに明るさについても、夏の間は午後7時頃まで照明なしで過ごせるそうです。

間取りは沖繩の古民家に見られる、いわゆる「田の字型プラン」です。リビングを挟むようにして和室とダイニングキッチンが配され、奥まった位置には子ども室と寝室があります。表座に当たる空間はひと続きになっているので、子どもたちは思いう存分走り回ることができません。「広々として気持ちいいし、何より子どもたちが伸び伸びしているのがうれしです」と奥さまはにっこり。



DATA	所在地	本島南部
	家族構成	夫婦、子ども2人
	設計	株式会社新洋
		設計担当 宮城健
		営業担当 山城豊
	敷地面積	581.72㎡(175.97坪)
	建築面積	144.06㎡(43.57坪)
	延床面積	107.04㎡(32.38坪)
	地階(駐車場)	47.50㎡(14.36坪)
	用途地域	未指定
構造	鉄筋コンクリート壁式構造	
完成時期	2012年9月	
施工会社	●建築/株式会社新洋(担当:新垣敦) ●電気/ショウデン ●水道/南風原水道工事 ●キッチン/タカラスタндарт株式会社沖縄支店	



右／玄関から室内を見る。左手には、扉面が姿見になった大容量のシューズクローブがあります 左上／カウンターのちょっとした奥行きを利用してダイニング側から使える食器棚をつかったり、シンク側には掃除のしやすいホーローを多用したり。「使い勝手の良いキッチンです」と奥さまも満足そうです 左下／障子の個性的なデザインがアクセントになった和室。床柱は、琉球王朝時代から建築用材として重宝されているチャーギ(イヌマキ)が使われています



右/手前が寝室で、奥の2部屋が子ども室。それぞれの部屋に設けられたクローゼットの中には、空気をこもらせないための通気口があります
 中/子ども室を仕切った状態。この可動式の間仕切り壁は、奥さまでも簡単に設置できる手軽さがポイント。思いのままに間取りに変化が付けられます
 左/リビングの南向きの大開口部が開放感を強調。上部の壁のくぼみには間接照明が設置されており、シーンに応じて室内の明かりが演出できるようになっています

掃き出し窓の先には、軒下の

計画当初、車庫をどちらの道路につなげるか悩みましたが、敷地の高低差を利用して地階の車庫がつくれる西側を提案。これにより、土工事にかかるコストを大幅に削減することができました。また、計画の段階で太陽光発電システムを導入する予定があると伺っていましたので、ソーラーパネル面に効率的に太陽光が当たるよう屋根に勾配をつけ、さらに、この屋根の形状を生かしてリビングにハイサイドライトを設置。南側の

施主の希望もあり、計画に当たっては眺望を最大限に生かしつつ、開放感を創出することがテーマになりました。

敷地は集落の端に位置する約176坪の傾斜地で、北側と西側が接道し、東側と南側は山に向かって開いています。Sさん宅の敷地の特長はこの眺望です。将来的にも景色を遮る建物が建つ可能性はほとんどありません。また、南向きの開放的な家を建てたいという施主の希望もあり、計画に当たっては眺望を最大限に生かしつつ、開放感を創出することがテーマになりました。

「直近の予定から子どもたちの独立後までを計画に組み込む——営業担当・山城豊さん談」

敷地形状や眺望を生かし、快適に住まえる機能を提案

と同じ奥行きで縁側をつくり、生活空間の延長として使えるようにしています。

Sさん宅には、当社が独自開発した「W断熱工法」を導入しました。これは、空気と断熱材を使った新しい工法です。具体的には、外壁と内壁の間に通気層と断熱材を挟み、外部からの熱気（冬は冷気）を遮断。さらに、暖まった空気が自然に上昇する性質を生かしたエアサイクルシステムで、通気層内で上昇した熱気をファンの回転によって排出します。また空気量を調節できるルーバーを開閉することで、室内換気や壁内と床下への給気を行い、一年中、快適な室内環境を保ちます。

間取りは、昔ながらの沖縄の家をベースにして計画

しました。裏座に当たる寝室と子ども室には可動式の間仕切り壁を設置し、子どもの成長や家族構成の変化に応じて、ワンルームにした

こんな家に住みたい 435坪 本島南部 Sさん宅

自然の豊かさを享受する 傾斜地の家

ホーローのパネルを 家族掲示板として活用



キッチンの壁にホーローのパネルを設置して、マグネットが使えるホワイトボードとして活用しています。市販のホワイトボードよりも使い勝手が良いそうで、小学校からのお便りを貼ったり、ちょっとしたメモを書いたりするのに、とても重宝しているそうです。



山城豊さん



前面道路から見たSさん宅。アプローチ階段の下を取納庫にしてスペースを有効活用。ベランダ側の軒も深くせり出ているので、窓側に寄せて洗濯物を干せば、雨に打たれることはほとんどないそうです

■株式会社新洋

那覇市銘苅206 ☎098-951-0641
<http://www.okinawa-cool.jp/>